

## 修正箇所一覧

No.	頁	分野等	政策の柱等	素案(案)の記述(修正前)	修正案	修正内容
1	P4	総論	【4つの視点と3つの政策分野のイメージ】	イメージ図を記載	イメージ図を記載(4つの視点のサイズを大きくした。)	同左
2	P6	総論	2 策定の背景 2-1 社会経済状況の変化	(2) 誰もがお互いに尊重し合い、活躍できる社会づくりの必要性  2015(平成27)年9月の国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)では、「誰一人取り残さない」社会を作っていくことが重要とされています。性別、年齢、障害の有無、国籍・文化的背景などにかかわらず、一人ひとりの個性や人権が尊重され、すべての人が安心して自分らしく生活し、能力を発揮できる豊かな地域社会をつくっていくことが必要です。	(2) 誰もがお互いに尊重し合い、活躍できる社会づくりの必要性  2015(平成27)年9月の国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)では、「誰一人取り残さない」社会を作っていくことが重要とされています。性別による固定的な役割分担意識の変化など、多様な生き方を認め合う考え方が浸透してきています。これからは、性別、年齢、障害の有無、国籍・文化的背景などにかかわらず、一人ひとりの個性や人権が尊重され、すべての人が安心して自分らしく生活し、能力を発揮できる豊かな地域社会をつくっていくことが必要です。	SDGsについて項目立てして記載(下記No.3参照)することに伴う修正。
3	P7	総論	2 策定の背景 2-1 社会経済状況の変化	記載なし	(8) 国連サミットにおけるSDGs(持続可能な開発目標)の採択  2015(平成27)年9月の国連サミットにおいて、SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)が採択されました。これは、2030(令和12)年を年限とする開発目標であり、先進国を含む国際社会共通の目標です。SDGsは持続可能な世界を実現するための17の目標(ゴール)から構成され、「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に対する総合的な取り組みが示されています。	SDGsについて、項目立てして記載する。
4	P77	資料	未来につなぐ4つの視点と新たな政策3分野による施策展開イメージ ※表枠内1行目5列目	多世代交流の支援の充実	包括的な相談支援体制の充実	取り組み例修正
5	P77	資料	未来につなぐ4つの視点と新たな政策3分野による施策展開イメージ ※表枠内1行目9列目	多様な担い手による地域管理・まちづくりの推進	多様な担い手による地域管理・まちづくりの推進	文言整理
6	P77	資料	未来につなぐ4つの視点と新たな政策3分野による施策展開イメージ ※表枠内1行目2列目	生涯学び続ける環境整備	さまざまな教育機関との連携による多様な学習機会の提供	取り組み例修正
7	P77	資料	未来につなぐ4つの視点と新たな政策3分野による施策展開イメージ ※表枠内2行目2列目	誰もが学びスポーツができるしくみづくり	身近な地域で障害者スポーツに親しめる環境づくり	取り組み例修正
8	P77	資料	未来につなぐ4つの視点と新たな政策3分野による施策展開イメージ ※イメージ図	3つの分野について、各分野を区分する罫線がある。	3つの分野について、各分野が重なり合う形に修正。	イメージ図修正